

## NFU SEMINAR REPORT

## 日本福祉大学セミナー報告

全国12会場で日本福祉大学セミナーを開催し、そのうち4会場を除く8会場で文化講演会が行われました。

いずれの会場においても、講演を熱心に聞き入る多くの参加者の姿が見受けられました。

## 2017年度日本福祉大学セミナー開催地

## 文化講演会型セミナー

開催日	開催地	会場
7月22日(土)	大阪市	法音寺大阪支院
11月18日(土)	前橋市	群馬県社会福祉総合センター

## 文化講演会+父母懇談会型セミナー

開催日	開催地	会場
6月18日(日)	名古屋	ホテル名古屋ガーデンパレス
9月9日(土)	静岡市	レイアップ御幸町ビル
9月23日(土)	岐阜市	じゅうろくプラザ
10月1日(日)	松本市	JA松本市会館
10月21日(土)	富山市	富山県民会館
10月28日(土)	高松市	高松東急REIホテル

## 父母懇談会型セミナー

開催日	会場
7月1日(土)	日本福祉大学 半田キャンパス
9月9日(土)	日本福祉大学 名古屋キャンパス
10月28日(土)	日本福祉大学 東海キャンパス
11月4日(土)	日本福祉大学 美浜キャンパス
11月5日(日)	日本福祉大学 美浜キャンパス

## 名古屋会場

Nagoya

## テーマ 手話落語と私

講師 桂 福團治  
落語家、上方落語協会理事  
日本手話落語会会長



娯楽のひとつとして「手話落語」が広まり、お茶の間を沸かせる日に向かって。

1979年に手話落語を考案して以来、普及に尽力されてきた桂福團治氏。講演では、一時的に発声障害に見舞われたことがきっかけだったという「手話落語」の誕生秘話や、手話落語教室を開く決意をさせたある親子とのエピソードなどを話してくださいませ

した。今では全国で100人を超える手話落語家が育っていますが、「このまま続けるかどうか葛藤した時期もあった。今があるのは聴覚障がい者の方の笑顔をはじめ、さまざまな人との出会いや言葉に大きな力をもらったからこそ」と強調。また「聴覚障がい者が手話落語をする娯楽番組を見て、皆さんが楽しむ時が来たら、「差別」という言葉はもう死語になっているでしょう」と述べられ、「それに向かってやらせてもらっているのは本当にありがたい。生きがいをいただいている」と語りました。後半では高座へ上がり、演目「観売り」と手話落語の小断も披露していただき、会場は終始大きな笑いに包まれていました。



## 岐阜会場

Gifu

テーマ 自分の身体と向き合って健康になろう!

講師 山本 和恵  
日本福祉大学スポーツ科学部助教



身体のリズムを知ることで、最適な食事や運動、睡眠が分かる。

スポーツ栄養マネジメント、スポーツ栄養教育を専門とする山本助教。「健康になるには、まず身体を知ることが大事」と話し、体内時計と自律神経の関わりをはじめ、一日の血圧変動、空腹時・満腹時のホルモン分泌の変化などを図やデータとともに解説。「身体のリズムに沿った食事や運動、睡眠が基本」と説きました。食事のポイントとして、成人男性は約1.4ℓ、女性は約1.3ℓという胃の容量を意識した量にし、野菜、タンパク質、炭水化物の順で食べることを推奨。また運動や睡眠のコツも詳しく紹介されました。

## 松本会場

Matsumoto

テーマ 地域包括ケア体制における住民全体の居住生活支援のあり方

講師 児玉 善郎  
日本福祉大学学長、教授



自分も辿る道“我が事”の意識で、住民が見守り、支え合う社会へ。

高齢者、障がい者、子育て世代などあらゆる年齢層で「社会的孤立」が問題となっています。児玉学長は「行政の制度や仕組みで支え切れない部分を地域住民が補完することが求められており、私たちは“我が事”という意識でアクションを起こしていくことが大切」と述べるとともに、地域で安心して住み続けるためのベースとして「居住の場」の重要性に言及。全国的に増加している空き家の活用事例について紹介し、「空き家のマッチングだけでなく、その後の生活支援までの仕組みづくりが不可欠である」と強調しました。

## 前橋会場

Maebashi

テーマ だれもが人間らしく生きられる社会のために～ハンセン病の歴史が現代に問うもの～

講師 中村 紀雄  
元群馬県議会議員、作家



政治や行政に携わる人間が、人権を真に理解することが必要。

県議会議員時代に「人権を深く理解し、行政が行われていない」と感じた経験をもとに、引退後、人権をテーマに小説を執筆している中村氏。現在、群馬県の上毛新聞に連載中の「死の川を越えて」は、偏見や差別に苦しんだハンセン病の方たちの人間ドラマを描いたもので、講演では物語の骨子とともに、国の誤った政策によって人権侵害を受けた人々の苦悩などを紹介。「日本国憲法ができたにも関わらず憲法に反することが行われていた。このようなことは二度と起きてはならない」と強く訴え、講演を締めくくりました。

## 大阪会場

Osaka

テーマ 変化を夢に!!

講師 安川 昭雄  
株式会社アドバンス取締役会長

## 静岡会場

Shizuoka

テーマ ホームレス問題からみた日本の貧困

講師 山田 壮志郎  
日本福祉大学社会福祉学部長補佐、准教授

## 富山会場

Toyama

テーマ パラリンピックと共生社会の実現

講師 藤田 紀昭  
日本福祉大学スポーツ科学部長、教授

## 高松会場

Takamatsu

テーマ スウェーデンの普遍主義的社会権保障と社会政策の重要性  
いつでも、どこでも、誰でも

講師 訓 覇 法子  
日本福祉大学福祉経営学部教授

## 保護者の皆様にインタビュー 1

## 岐阜会場



不安を乗り越え、前向きに社会に羽ばたいてほしい。

丹羽 里美さん  
社会福祉学部 社会学科 4年  
実野里さん/岐阜県出身

就職に力を入れている大学という印象なので、情報を知るためにセミナーには何度も参加しています。娘は無事に内定をもらったものの将来への不安を感じているようで、以前はサークルやゼミ、就職活動のことなどいろいろ話してくれたのに、最近は口数が少なく心配していました。今回、就職で悩んでいる子どもへの声のかけ方や、娘の大学での様子を知ることができたので本当に来てよかったですね。娘の不安を払拭できるような声かけをし、親として適度な距離で見守っていきたいと思います。

## 保護者の皆様にインタビュー 2

## 松本会場



大学の魅力を実感し、娘の成長がさらに楽しみに。

那須野 佐千子さん  
看護学部 看護学科 1年  
星(あかり)さん/長野県出身

初めて参加しましたが、大学の情報を得られるのはもちろん、先生と直接お話できる場もあり、非常に魅力を感じました。娘は中学高校と部活漬けの日々だったので、大学に入学してからは自由なキャンパスライフが楽しくて仕方ない様子。勉強だけでなく、サークルも楽しんでいるようだし、「良い先生や友だち、先輩に囲まれてすごく幸せ」と嬉しそうに話してくれます。看護学部は特に実習が大変と聞くので、親として心配もありますが、元気に娘らしく、自分で決めた道を突き進んでほしいですね。